

静岡県漁業協同組合連合会
1111 静岡市追手町 9-18
16.9.24 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 静岡海区漁業調整委員会 会長に橋ヶ谷善生氏が再任

このほど、任期満了に伴う第18期静岡海区漁業調整委員会委員(本誌1107号にて既報)の決定を受けて、去る9月8日、先に選出された新委員より正副会長の互選を行った結果、会長には橋ヶ谷善生氏(小川漁協長・再)、副会長に根崎 梓氏(伊東市漁協長・新)、名波源四郎氏(相良町漁協長・新)が夫々選任され就任されました。

2. 平成16年度天草共販第6回入札会開催される

本会では、去る9月22日天草事業の第6回入札会を賀茂出張所において開催し、入札結果は次のとおりです。数量:13,545kg(368本) 取扱金額:12,438千円 平均単価:13,545円(10kg当たり) 最高入札額:稲取まくさ(粗) 18,460円(10kg当たり)

この結果、第6回までの取り扱い累計は43,648kg、1,749本(対前年比9,857kg、393本増)、取扱金額61,847千円(同11,670千円増)、平均単価14,169円(同681円減)となりました。

なお、次の入札会は10月13日(水)となります。

3. JF全漁連「2004年度第3回石油部会」開催される - 資料提供JF全漁連 -

JF全漁連では去る9月15日2004年度第3回石油部会を開催し、最近の石油情勢並びに石油製品の供給価格改定(値上げ)を報告・協議しました。

国際石油情勢:OPECは6月3日、バイルートで臨時総会を開催し、7月1日からの生産枠を25,500千バレル/日、8月1日からの生産枠を26,000千バレル/日に引き上げることで合意しました。原油市況はWTIにおいて、中東情勢が不透明であることや米国のガソリン在庫が低水準で推移していたこと等により7月下旬には43^{ドル}/バレル前後まで高騰しました。8月に入ってもロシア石油会社の生産停止懸念やOPEC加盟国の生産余力に対する懸念、イラク情勢の緊迫化等から、8月中旬には48^{ドル}/バレル台と史上最高値を更新しました。8月下旬にはイラクの供給不安定が後退したことから軟化し始め、9月中旬現在、44^{ドル}/バレル前後で推移しています。

石油製品市況:7月の韓国製油所でのストライキが長期化したこと、アジア域内の需要が旺盛になったことから需給が引き締まり、7月下旬には48^{ドル}/バレル前後まで急騰し、8月に入っても原油価格に連動しながら上昇し、中旬には53^{ドル}/バレル台と市場最高値を更新しました。その後原油市況が軟化したことから、9月上旬には50^{ドル}/バレル台で下落しました。

国内石油情勢:7月から記録的な猛暑の影響によりガソリン需要が旺盛となり、また電力需要の増加で火力発電用の低硫黄C重油の需要も増大したことから、ガソリンなど製品の需給は逼迫しました。このような中、石油製品の国内在庫数は、燃油合計で11,645千kl(前年同月比83.5%)、A重油は1,149千kl(同87.7%)となりました。また、8月9日の関西電力原子力発電所の事故に伴う火力発電所の稼働率引き上げにより、石油および低硫黄C重油の需要が増大しました。製品在庫が低水準で推移する中、9月以降、複数の製

油所において定期修理が実施されることから、今後、需給は堅調に推移することが予測されます。このような状況の中、JF全漁連としては輸入製品のコストアップに加え、取引元売等からの強い値上げ要請を受け、コストアップ分を吸収するのは限界に達したことから、値上げをやむを得ずとの結論に達しました。

4. イセエビ刺網漁解禁

伊豆の秋の味覚を代表するイセエビの刺網漁が去る9月16日解禁(漁期は来年5月14日まで)となり、9月17日今シーズンの初水揚げが伊豆各地区で行なわれました。

全国でも指折りの漁獲量を誇る南伊豆町漁協では、海岸線の11ヵ所に漁港があり、同漁協組合員約130人がイセエビ漁を行っています。

当日は、午前4時過ぎに夫々の漁港から出港して、前日の夕方に仕掛けた刺網を引き上げ帰港し、漁港内で待ち受けていた女性等がひげや足を傷つけないように一匹ずつ丁寧に網から外しかごに入れて同漁協に約1,400^{kg}出荷されましたが、全体的にやや小ぶり(200~300^g)が中心です。

5. 県TAC(漁獲可能量) 8月末漁獲実績を発表

県では、このほどTAC対象4魚種の8月末現在の漁獲実績を発表しました。

それによると、サバがTAC数量7,000^トに対し5,075^トで消化率72.5%となり、TAC数量が若干量の魚種では、マアジ2,528^ト、マイワシ2,876^ト、スルメイカ387^トの漁獲量となりました。また、サンマは34^トの漁獲量でした。

6. 平成16年度船舶職員養成講習会開催のお知らせ

本会では、焼津漁協、県鯉鮪漁協との共催により、漁業従事者能力向上事業の一環として例年実施している船舶職員養成講習会(3・4・5級海技士(航海・内燃機関))を本年も次のとおり開催しますのでお知らせします。

受講科目	開講日時	講習期間
3級海技士・航海	平成16年11月29日(月)午前11時	平成16年11月29日
3級海技士・内燃機関		~平成17年3月4日
4・5級海技士・航海	平成17年1月11日(火)午前11時	平成17年1月11日
4・5級海技士・内燃機関		~平成17年3月4日

臨時国家試験は、平成17年3月8日(火)から焼津漁協(予定)で行われます。

免許講習は、平成17年3月14日~25日(航海)、平成17年3月14日~18日(内燃機関)で行われます。

いずれの講習も、県立漁業高等学園(焼津市小川汐入3747-2)で行います。

申込・問合せ先:本会漁政課(TEL:054-254-6011)、焼津漁協(TEL:054-628-7115)、県鯉鮪漁協(TEL:054-628-7258)

7. 諸会議・日程(9月28日(火)~10月11日(月)) - 既報分省略 -

10月5日(火) 県養鰻協会 = 役員・幹事・企画委員合同会議 (県水産会館)

10月7(木)~8日(金) 県漁船保険組合 = 事務担当者研修会 (浜松名鉄ホテル)

10月7日(木) 県桜えび漁業組合 = 出漁対策委員会 (県水産会館)

10月8日(金) 県超短波漁業無線協会 = 研修会 (伊豆長岡三溪園)